

## 倉吉市総合計画審議会 第2回総合部会

- 1 日時 平成23年2月6日(日) 15:30~18:00
- 2 場所 市役所議会会議室
- 3 出席者 福田委員(部会長)、山田委員、栗原委員、吉田委員、池田委員、岡野委員  
<欠席> 永山委員、竹内委員  
事務局 総合政策室 森室長、向井企画員、梶井主事  
副市長、教育長、総務部長、市民生活部長、産業部長、建設部長、教育次長  
職員課長、税務課長、市民参画課長

15:30

### 1 開会

欠席委員があるが、運営規則第4条2項に基づき、委員の半数以上の出席があるので開会する。

### 2 あいさつ 福田部会長 以下進行

### 3 協議事項

#### ● 基本構想

<序章>事務局) 内容の説明

山田委員) ビジョンの特徴が書かれているが、この通り。問題なのはその実行する中身。

福田会長) そういうことで次に進んでよいか。(意義なしの声)

<第I章>事務局) 内容の説明

池田委員) 課題、重点課題についてはごもっともだと思うが、10次総で残されて評価されたものが11次総の課題となって出てきている、そういう具体的なものがあれば教えて欲しい。策定期間があまりに短い。夏ぐらいから住民の声を吸い上げていくべきでは。

事務局) 10次総では「若者定住促進」を重点課題としていたが、なかなか成果が現れてないのが現状。子育て支援についても、買い物応援や固定資産税の減免など取り組んでいるが、人口減、出生率も伸びてない。そうした事が積み残しといえる。本来であれば昨年度から始めるのが普通。策定期間についても非常に短く、始めた時期が遅かったが、市民対話集会、ワークショップなどを行い、意見を多く取り入れるように努力した。審議する期間も少なく申し訳ない。

福田部会長) 若者の定住についてはどの地方都市でも課題。

山田委員) P8の産業。就業人口の各分野の数字を知りたい。1次から3次外に、医療福祉教育分野、ここに力をいれることが産業をのばすことに繋がるのでは。かなりの人数が働いているはず。

事務局) 数字は次回にでも示したい。この分野の就労はかなりある、支援していく必要あると思う。

事務局) 総数は変わらないと思う。割合に変化があると思う。

山田委員) 数字で表して説得力をもたせる必要がある。もっと吸引力がある。

吉田委員) 10次総の成果例は?

企画員) 若者定住に取り組んできて、人口流出の曲線が緩やかになってきている。30代前半も帰ってきている。起業という点で、6次産業の芽生えなど。

池田委員) P 1 4 の福祉医療分野の「がん検診受診率」。がん検診以外にもある。特定健診としてもらってよい。

事務局) 「がん検診をはじめ特定健診の受診率」とする。

吉田委員) P 1 4 の産業。既存商店街のにぎわいの低下とあるが、どこをさしているのか。伝建群あたりなど少しずつ賑わっている。

事務局) 旧商店街のこと。観光客も少しずつ増えているが、にぎわい、活気あるとまでは言えない。

吉田委員) 場所を限定して低下というのはどうか。

事務局) 「低下」を「低迷」に修正する。

山田委員) P 1 4 の弱み強みのモノサシは何か。以前と比べて？よそと比べて？何と比べてかを明確にしたほうがいい。

事務局) 周辺との比較もあるし、バラバラ。一般的に見てこうかなということ。

事務局) 市民ワークショップや対話集会で出た意見。

山田委員) 「ワークショップ、対話集会の意見に基づき」と入れたら。

事務局) 文中に説明を加える。

岡野委員) 行政の役割を見直す、行政経営とはどういうことをさすのか。分かりやすくしてほしい。

事務局) 他にいい表現があれば。「行政の内部的、基本的な、行政が行うべきスタンス」という意味。

山田委員) 「行政経営」という表現は一般的になっているが、初めての人には抵抗、違和感がある方もいるだろう。従来持ってなかった感覚を持ってということ意味だが。

事務局) 経営感覚を持ったスタンスでということ。注釈を入れる。

吉田委員) 9 P 「毎年多くの観光客・・・」具体的数字をいれてはどうか。公表している数字があるはずだが。

事務局) 去年からセンサーを取り入れた。そのカウントだと 60 万人くらい。まだ精査する必要がある。議会には 21 年度 42 万人と報告している。

福田会長) 毎年変わってくる数字だと思うので、(〇年度～人)としては。

吉田委員) 北条湯原道路のことは出ているか。

企画員) 全線開通してないので、図面中表示している。

16 : 20

< 第 II 章 > 将来都市像 事務局) 内容の説明

山田委員) P 1 8 の図(人口の見通し)。11 次総が計画通りに行けばこうなるというあるべき目標値、目的値を載せられないか。

事務局) 目標値あってしかるべきだが、非常に難しい。人口減少の速度を緩めること、図のようにあってはならないという気持ちではあるが。

山田委員) 社会転入をどう増やすか。よそからの呼び込みが必要。問題提起として、基本目標の 1 -

3のサービスのところに増加させると思われる要素を、基本目標3の福祉、教育、健康の業種に入れられないか。P8で言ったことと関連している。

吉田委員) 具体的な数値が市民の希望に繋がると思う。これをやればこうなるという表現がほしい。今は大切なP (PDCAのP)の部分。

事務局) ビジョンなので具体は困難。

山田委員) 増やす事を表現すべきと思う。

事務局) 構想としてなので具体的には困難と考えている。

山田委員) 充実すると就業が増えるということを表現して欲しい。

16:45

● 行政経営の方針

<施策1>事務局) 内容の説明

山田委員) 取り組み方針3段目。団塊世代ばかり。未来を担う若者、子どもも取り入れたら。成果指標の1番目。この会もそうだが委員の年齢バランスを考えたほうがいい。日曜、夜開催なら若者の参加も可能。

事務局) 別の部会からも出でいた意見。バランスを考えていきたい。

山田委員) そのことを記述に入れてほしい。参画していくよう表現を。

吉田委員) 取り組み方針4段目。新たな財政支援とあるが、市民は人的支援も求めている。

事務局) そのことは施策2, 3で表現している。

池田委員) 取り組み方針1, 2は重複するのでは。パブコメ等をやっているようだが、市政への参画機会をもうちょっと具体的に表現できないか。

山田委員) 具体的に何をイメージしているのか。例示したほうが分かりやすい。

事務局) 今やっているものだが、今後の改善等もあるということで検討したい。

<施策2>事務局) 内容の説明

栗原委員) 成果指標の4段目は、内部と外部の評価が両方の評価があるのか。

企画員) 両方ある。

山田委員) 取り組み方針3段目「民間でできることは民間で」どこまで本気でやれるかだと思ふ。今、市として何をお考えか。

事務局) グリーンスコーレなど指定管理に出している。給食センターの調理部門を民間にと検討している。

山田委員) 外の意見を取り入れながら、市としてやっていくのは何なのか。これをどう検討していくかが問題。市の責任を持つこと。

事務局) 具体例を入れることは困難である。「市民等の意見を聞きながら」という表現を入れる。

吉田委員) 取り組み方針2段目。「限られた職員数で」とあるが「少ない人数でこれだけやっています」という印象。「職員一人ひとりが」と修正できないか。

事務局) 意見のとおり修正する。「職員一人ひとりが」に修正。

<施策3>事務局) 内容の説明

山田委員) 取り組み方針1, 2段目の意識改革、能力開発。具体的にはどうするかを表記すべき。何を  
するかが見えない。

事務局) 検討させてください。

吉田委員) 職員の意識改革として、行政職員の使命感を表現する文章があってほしい。

山田委員) 民間感覚をどう入れ込むか。意識改革の方法としては人事交流や研修、OJT等であると思うが。

事務局) そのとおり。やっているがいかに改善しているかをやりたい。今後どうやっていくかを検討したい。

栗原委員) JAでは、自分の課題として自ら取り組んでいくということで、あいさつ、清掃など職場で目標を立て、毎月点検をしている。8年続けて変わってきた。

事務局) 市長もまずはあいさつからということで、若手職員中心としてあいさつ運動などしている。

吉田委員) 市役所を見たとき、ガラス張りの行政と言うが汚い部分も見えている。もっと使命感をもって、いろいろなことをすべき。職員一人ひとりが「みんなの市役所」という意識を持ってほしい。

池田委員) これだけ努力しているということを市民に示す方策があってもいいのでは。行政経営について、市民への情報提供を。

山田委員) P16, 17(双方向の情報提供)に表現されている。

<施策4>事務局) 内容の説明

山田委員) 共生ビジョンは定住自立圏構想とからんでるのか。

企画員) そのもの。

池田委員) 安全安心のまちづくりという点で、医療、福祉、介護が広域連合で平等なサービスが出来ないかと考えている。

事務局) 倉吉市の計画では具体的には書けない。1市4町との調整が難しいところ。

山田委員) 成果指標の2段目。単独のときの結果数値と協働した結果数値を見て、どういう効果があったかというのが目標値。そこを本気で検証しないと。今出されている事業数ではあまり意味が無い。何かないか。

事務局) そのとおり。数の問題でない。数値化できない目標があってもいいと思う。

<施策5>事務局) 内容の説明

山田委員) 財政の問題が気になる。受益者負担の表現は。滞納もあると思うが。どう具体化されるのか。取り組み方針2は何を具体的にイメージされているのか。

事務局) 受益者負担は水道、下水等々の料金。収益増と滞納減の両方をきちんとすること。

池田委員) 取り組み方針4段目。事業仕分けもいいが、補助金、交付金はどう使われているのか市民に見えるようにしてほしい。我孫子市でやっているようだが。

事務局) 補助金などはものすごい数。やる気のあるところにやってもらいたいという気持ちを持っている。

山田委員) 市の財政について、外部の意見を聞く仕組みはあるか。収入を増やす具体的やり方として、考えたほうがいい。民間の考え方は違う。思わぬアイデアがある。

事務局) 行政経営の観点での必要性はある。今後検討していきたい。

吉田委員) 取り組み方針 5 段目は大切なこと。どんどん情報提供して欲しい。インパクトを強く、わかりやすく出してほしい。市民も自分たちの税金はこんなことに使われているんだなという、市民も知らないことを分かりやすく情報を出してほしい。

<施策 6>事務局) 内容の説明 意見なし

<施策 7>事務局) 内容の説明

栗原委員) 市報の内容と発信を充実してほしい。

池田委員) 情報提供は相手が何を求めているかを知ってこそ充実すると思う。

福田部会長) 取組の 2 つ目に「ニーズに応じた」の表現を挿入。

17:50

● 戦略プロジェクト 事務局) 内容の説明

山田委員) まさに一番最初にした問題提起のこと。戦略プロジェクトの○の 2 つ目、福祉教育分野の雇用の促進を入れてほしい。○の 3 つ目の福祉教育医療分野を良くすれば、雇用も生まれるんだということをうまく表現してほしい。戦略プロジェクトの中に入れて込んで、そういう分野の就業を増やそうという表現を工夫してほしい。

事務局) 検討します。

福田部会長) 次回までに今回の意見のまとめと方針の資料を委員に送ってください。

事務局) 次回は、本日の意見のまとめ、将来都市像、他部会からの意見のまとめと総合部会への審議委員案件、答申案の審議をいただく予定。

18:05 閉会